

平成31年1月8日

開進三中だより

< 第9号 >

—◆たくましい人◆考える人◆心豊かな人◆助け合う人— 練馬区立開進第三中学校

「当たり前前のごとを徹底的に行う」

校長 岩尾 幸市

謹んで新春のお慶びを申し上げます。本年も教育活動へのご理解とご支援をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

20年程前から、ある家電メーカー創始者の言葉「夢は、日々の小さな努力から実現する」、この言葉を大切にしています。

「伸びる会社は、その会社を訪問すればすぐわかる。おはようございますと、さわやかなあいさつが返ってくる会社、工場が整理整頓されている会社、トイレの清掃がいきとどいている会社、このことができている会社はまちがいになく伸びる。反対にできていない会社は、ある程度の業績があっても必ずだめになる。このことは人にもあてはまる。当たり前前のごと、簡単なことをやり続けている人は必ず伸び大きなことを成し遂げられる」と記されています。

これは「凡事徹底（ぼんじてってい）」という言葉に当てはまります。この言葉の意味は「当たり前前のごとを徹底的に行うこと」です。なにか特別なことをやるのではなく、当たり前前のごとを徹底的にやり続けることが、大きな成果につながっていくという考え方です。

本校では、一人一人の生徒が大きく成長するために、当たり前前のごとをしつかり取り組もうと伝えています。「挨拶の励行」、「時間を守る」、「責任を果たす」、「自他を大切にする」、「授業を大切にする」などです。

自分の目標を定め、だれも見えていなくても継続的に当たり前前のごとを自然にできたとき、必ず夢に近づきます。

3学期は、生徒・学校にとって1年間のまとめとなります。また、4月からの新たな生活を見据えて着実に準備する重要な時期です。1年生は4月から「中堅学年」として充実する年を迎えます。2年生は「開三中の顔」となる最高学年になります。3年生は自己の進路希望を実現するよう全力で取り組み、学年が結束して有終の美を飾り、最高の卒業式を迎えてください。

ソーランクラブ開進二小音楽祭に出演



12月22日（土）午前中、開進第二小学校で行われた子ども音楽祭に本校ソーランクラブが出演しました。

16名の生徒が限られた時間の中で練習に取り組み当日の本番に臨みました。今年度は例年より1曲多く4曲の演舞を元気に披露しました。

南中ソーランでは5年生と合同で、最後のシャケサンバでは、全員が立ち上がり体育館全体が歓声に包まれました。毎年参加するたびに、開進二小の皆さんからパワーを頂いています。演舞を披露する機会を与えてくださったことに感謝申し上げます。



税についての作文表彰

3年生が取り組んだ「税についての作文」において、

公益財団法人練馬東法人会会長賞 1名

練馬東納税貯蓄組合連合会会長賞 1名

計2名が入賞しました。

受賞した生徒は12月14日（金）に生涯学習センターで行われた表彰式に参加し表彰を受けました。



東京国税局顕彰状



本校が取り組んできた「税についての作文」、「税の標語」、「租税教室」等の租税教育への今までの取り組みに対して東京国税局顕彰状を頂きました。

賞状は12月13日（木）に東京国税局長 藤城 眞 様にご来校いただき、岩尾校長が学校を代表して受け取りました。